

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[管理型](平成 28年 5月度)

対象期間：平成 28年 5月 1日 ~ 平成 28年 5月 31日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の2ハイ、規12条の7の5七イ]

種類	数量(単位)	
燃え殻	1,811.35	(トン/月)
汚泥	4,117.00	(トン/月)
廃プラスチック類	4.64	(トン/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	145.62	(トン/月)
鉱さい	200.82	(トン/月)
がれき類	118.54	(トン/月)
ばいじん	540.51	(トン/月)
13号廃棄物	291.92	(トン/月)
汚染残土		(トン/月)
混合廃棄物	344.69	(トン/月)
その他(燃え殻)	1.00	(m3/月)
その他(汚泥)		(m3/月)
その他(ガラス陶磁器屑)	12.00	(m3/月)
その他(廃プラスチック類)		(m3/月)
その他(煤塵)		(m3/月)
その他(瓦礫類)	2.00	(m3/月)
その他(廃石綿等)	57.00	(m3/月)
廃プラスチック類(石綿含有)	1.00	(m3/月)
ガラス陶磁器屑(石綿含有)	32.00	(m3/月)
がれき類(石綿含有)	52.00	(m3/月)

水質検査の実施状況と措置(年1回)[規12条の7の2ハニ及びホ、規12条の7の5七ニ及びビホ]

	地下水等		放流水
	平成27年9月8日	平成27年9月8日	平成27年9月8日
採取日	平成27年9月8日	平成27年9月8日	平成27年9月8日
採取場所	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
検査結果が得られた日	平成27年10月8日	平成27年10月8日	平成27年10月8日
検査項目	ダイオキシン	ダイオキシン	ダイオキシン
検査結果	0.065 (pg-TEQ/l)	0.056 (pg-TEQ/l)	0.00037 (pg-TEQ/l)
異状の有無	有・ 無	有・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容	/		

※1 処分場の平面図に位置を明示すること。

*この書式は(社)全国産業廃棄物連合会最終処分会作成を元に作成。

水質検査の実施状況と措置(月1回)[規12条の7の2ハニ及びホ、規12条の7の5七ニ及びビホ]

	地下水等		放流水
	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取場所	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取日	5月10日	5月10日	5月10日
検査結果が得られた日	5月24日	5月24日	5月24日
電気伝導率	6.6 (25°C mS/m)	15.50 (25°C mS/m)	
塩化物イオン濃度	8.2 (mg/l)	1.80 (mg/l)	
水素イオン濃度			7.6 (20.8°C)
生物化学的酸素要求量			1.6 (mg/l)
化学的酸素要求量			11 (mg/l)
浮遊物質			<1 (mg/l)
窒素含有量			3.7 (mg/l)
異状の有無	無	無	
必要な措置を講じた日付とその内容	/		

施設の点検[規12条の7の2ハロ、ハ、ヘ、ト及びチ、規12条の7の5七ロ、ハ、ヘ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理施設
	平成28年5月31日	平成28年5月31日	平成28年5月31日	平成28年5月31日
点検日	平成28年5月31日	平成28年5月31日	平成28年5月31日	平成28年5月31日
異状の有無	無	無	無	無
必要な措置を講じた年月日とその内容	平成 年 月 日			
必要な措置を講じた年月日とその内容	/			

※「防凍のための措置」: 当該処分場の導水管等は、凍結損壊のおそれのある部分はありません。

残余容量

測定年月日	平成28年 3月31日
測定結果	551,184m3